

【尼^{あま}円^{えん}堅^{けん}田^{でん}地^ち寄^き進^{しん}状^{じょう}】

（端裏書）「寄進状 檀那方 六通内」

倚^{（寄、以下同）}進 下地田事

合 壹町者

式段 字テヤイリ、瑞築庵^江売券^に檀那加判形了、
東縄本

式段 字八田

式段 字三マエ口

式段 字フシノ木
曆田

式段 字山ナハテ
廿八坪 ■証後

右件田者、円堅売得相伝之下地也、然而

為^二親^一 道慶阿闍梨 六月廿七日 并 定鑑禅門
遜公行山大師 正月十四日 尼円堅 菩提之^一

手継証文相副、奉^レ倚^二進^一松月庵常住料処^一

実也、自今已後兄弟共中円堅借物号^二在由而^一、

違乱煩於申輩者、長可^レ為^二不孝者^一也、

後々末代至先祖追薦^{（善力）}無^二退^一転^レ可^レ被^二勤仕^一

者也、仍為^二後証^一倚進之^{（状）}如件、

（二四〇七）
応永十四年^丙七月十二日 尼円堅（花押）
亥